

# 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和3年10月18日  
枚方市立津田南小学校

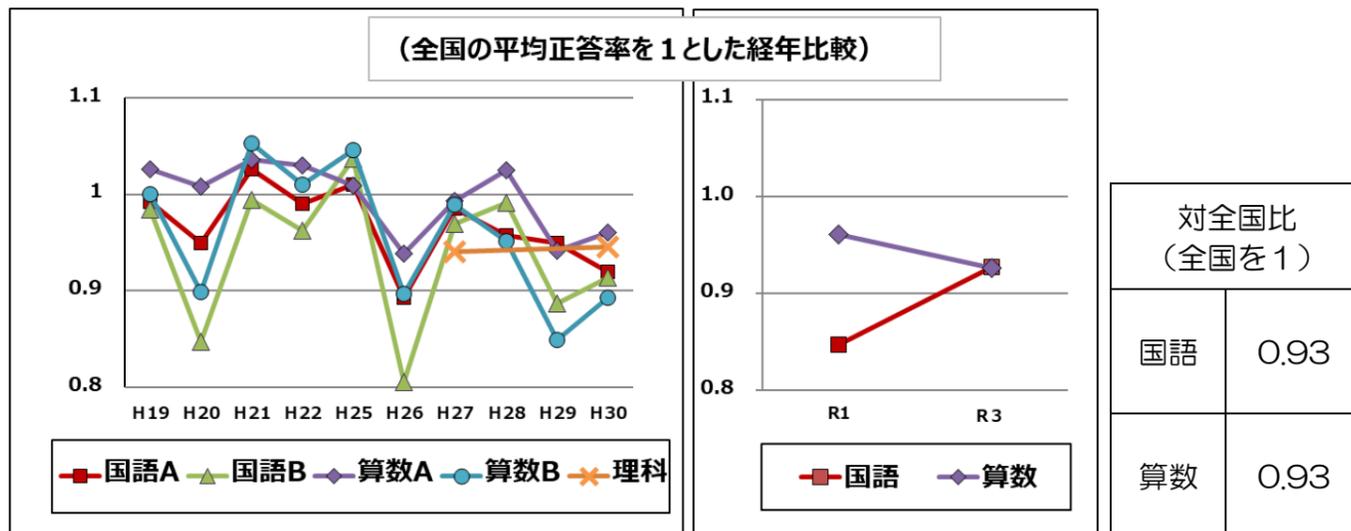
文部科学省が今年5月に実施した、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

## 【全体概要】

※調査結果について  
教科や出題範囲が限られていることから、  
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

## 学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。  
(※令和元年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。)



### <学力調査結果の概要>

#### ○国語について

→対全国比の1と比べると本校は、0.93という結果になった。令和元年の国語の0.85という結果を考えると上昇したことになる。文章の構成を捉える問題や漢字の書き問題については、全国平均に並ぶ正答率であるが、主語や修飾語などの言葉の問題での正答率は低く、無回答率はどの問題でも高いという結果が出た。言葉の学習について、復習をしていく必要がある。

#### ○算数について

→対全国比の1と比べると本校は0.93という結果になった。令和元年度の算数0.96という結果を考えるとやや低下したことになる。図形の面積の求め方、データの利用、割り算の理解に課題があることが分かった。

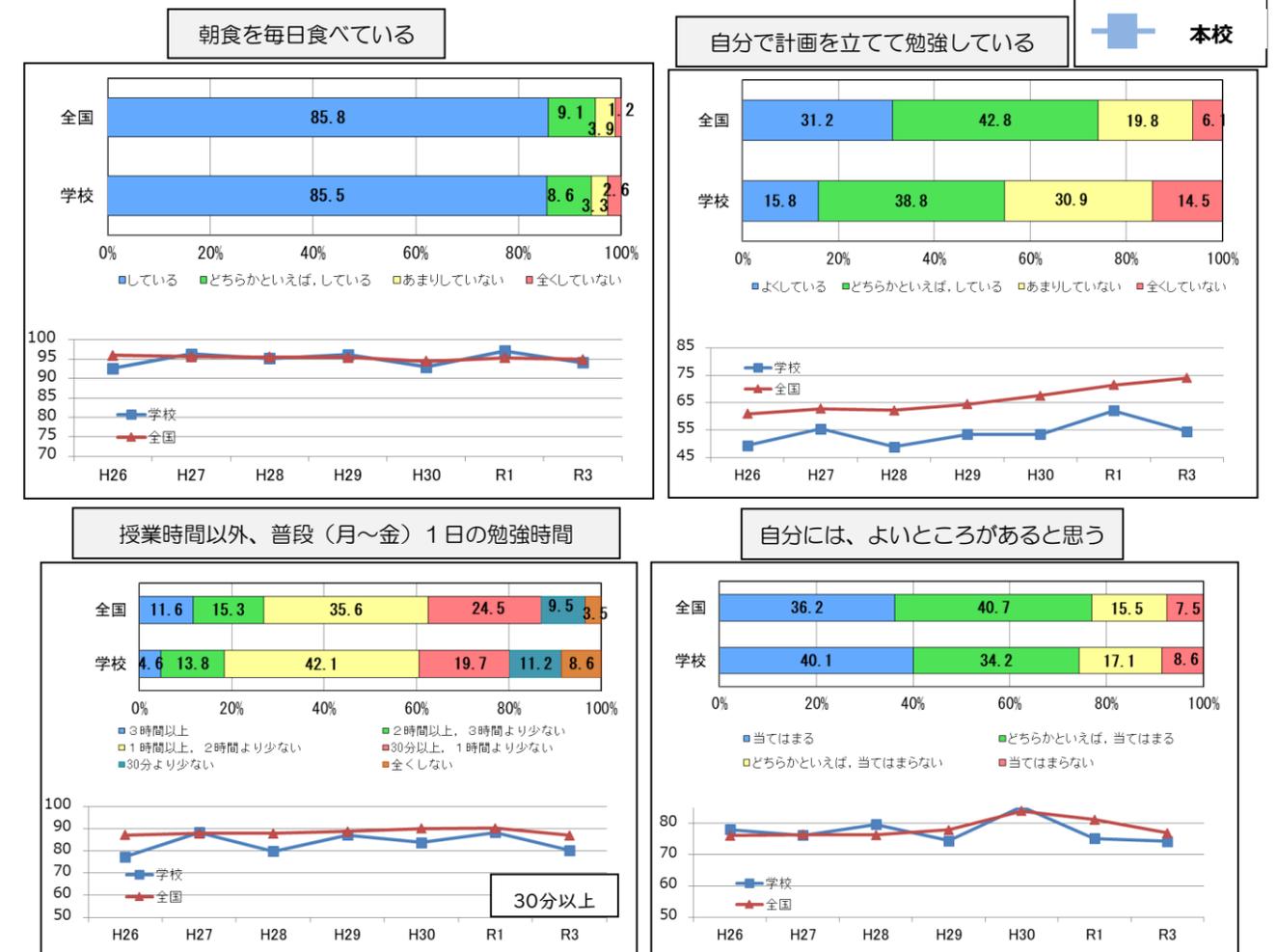
※本調査は、平成19年度から実施されています。

※平成23年度・令和2年度は中止、平成24年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

## 質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。  
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



### <質問紙調査結果の概要>

○生活習慣について→毎朝朝食を食べているという項目について、毎年安定して9割を超える児童が肯定的な回答をしている。朝食はその日の調子を整える大事な役割を果たしているため、これからも続けてほしい。  
○学習について→自分で計画を立てて学習をしている項目は約5割の児童が肯定的な回答をしている。全国平均の7割と比べると、大きく下回っていることが分かる。学習時間についても30分より少ない児童が全国に比べると多い。目標を作り、計画を立てて学習を進めるための学校・家庭での双方の大人の支援が必要である。

## まとめ

○学力学習調査から、国語は思考・判断・表現に関する力に課題があることが分かった。本文の要点を素早く読み取る読解力、自分の考えを書く表現力などの向上を目指した授業を展開していく必要がある。算数は、知識・技能に関する基礎的な問題に課題があった。知識・技能をただ暗記するのではなく公式に至るまでの過程を実体験をもって理解させておく必要を感じた。

○質問紙調査の結果では、生活習慣に関して規則正しく送ろうと意識していることが分かった。自ら学習に向かう姿勢を育てていくために、学習しやすい環境づくりや学校・家庭での双方の大人からの声掛けが重要になってくると考えられる。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

# 【詳細について】

## 教科に関する調査

### <国語>

#### 成果や課題があった設問

##### 【成果】

#### 説明的な文章を読み、わかったことをまとめる

4 3 2 1

1. 金東会は九時より始まります。会場へは五時よりお入りください。今年の夏は去年の夏より暑いです。

2. 最も適切なものを、あとのすから1つ選んでください。

3. 資料1と資料2の両方に書かれています。その内容を比べて、正しいものを1つ選んでください。

4. 資料1と資料2の両方に書かれています。その内容を比べて、正しいものを1つ選んでください。

資料1 面ファスナーは、かさや傘など、さまざまな製品の留め具として使われています。また、便利で壊れにくいという特徴があります。面ファスナーは、一九四八年に、アメリカの発明家、ジェームズ・マクドナルドによって発明されました。彼は、犬の毛につけられたゴボウの葉がたくさんついていて、これを脱いでくわくわくと、不思議に思い、その葉を持ち帰って観察して、犬の毛につけられているものが、ゴボウの葉の葉の曲がったかきざねのようだとおぼえていたことがわかりました。そのことが、面ファスナーの発明につながりました。

資料2 一九六〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになり、財布やかばん、かさなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き付けバンドなどの医療用品にも使われていました。右のように柔軟性があり、物や体の形にぴったり合わせることができる面ファスナーが適しています。中でも大流行したのは、面ファスナーを使った運動靴です。ひもにくらべて、手回しで調節できる面ファスナーは、足の周りの全ての物が固定できるようなり、運動靴の歴史を変えました。面ファスナーは、人の足の動きに合わせた柔軟な調節が可能な生活必需品です。

面ファスナーの仕組み

	正答率	無解答率
本校	87.3	0.7
全国	87.5	0.3

(考察) 大阪府・全国と同程度の正答率である。思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことがおおそできていることが分かる。資料中に出てくる「より」は、ほかの留め具と比較するためのものである。誤答として多かったものは、原因を表すための「より」であった。「～は…より」の使い方を適切に捉えることが必要である。

### <算数>

#### 成果や課題があった設問

##### 【成果】

#### 日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること

1. たけるさんたちは、地域の昔のことに調べるために、博物館と城と図書館へ行きます。

(1) たけるさんたちは、駅に集合してから博物館へ行きます。博物館の後のコースについては、下の2つのコースを考えました。2つのコースと道のり

たけるさんたちは、道のりがBコースより短いAコースで行くことにしました。

Aコースの道のりは、Bコースの道のりより何m短いですか。求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	63.9	4.7
全国	62.6	1.7

(考察) 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題である。大阪府・全国の平均を上回った。誤答として多かったものは、Aコースの道のりとBコースの道のり、どちらかのみを計算しているものや、どちらも計算しているが、差を求めていないものなどであった。計算の力が大きく不足しているということではないので、諦めずに根気よく最後まで取り組む態度を育てていく必要がある。

### 【課題】

#### 自分の考えを主張する文章を書く

3. 一人一人が責任をもってかたづけよう

わたしたちは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもって使った物を使ったことが大切だと考えます。また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれます。すみの方にうつらうつら寝かれています。かたづけが終わると、遊具置き場はきれいになります。自分たちが使った遊具は、自分たちがかたづけてあげよう。自分たちが使った遊具は、自分たちがかたづけてあげよう。自分たちが使った遊具は、自分たちがかたづけてあげよう。

【西田さんの話】(遊具置き場のそうじ担当)

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう。はきそうじやふきそうじもそうじができてなくて困ります。

【西田さんの話】(遊具置き場のそうじ担当)

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう。はきそうじやふきそうじもそうじができてなくて困ります。

【西田さんの話】(遊具置き場のそうじ担当)

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう。はきそうじやふきそうじもそうじができてなくて困ります。

西田さん

	正答率	無解答率
本校	45.3	20.0
全国	56.6	9.6

(考察) 意図や目的に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかを見る問題である。大阪府・全国よりも正答率が大きく下回った。無解答率も高い。文字数の指定は満たしている児童が多かった。誤答としては、理由が取り上げられていないものや、【西田さんの話】から言葉などを取り上げられていないものが多かった。普段の授業で、理由を説明する力や表現する力を養っていく必要がある。

### 【課題】

#### 図形の構成の仕方に着目した図形の計量についての考察

2. 図1のような直角三角形があります。

図1

(1) 図1の直角三角形の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。求める式と答えを書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	39.3	2.0
全国	55.1	1.6

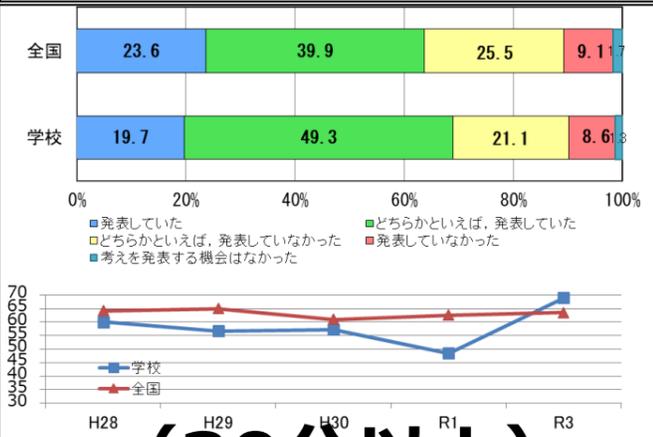
(考察) 三角形の面積の求め方について理解しているかどうかを見る問題である。大阪府・全国より大きく下回る結果となった。誤答として、3×4×5という回答が約30%で、公式について理解しておらず、示された全ての長さに着目して立式している。普段から、機械的に公式に当てはめて立式するのではなく、その公式の意味を理解して使うということを授業で押さえていかなければいけない。

# 質問紙に関する調査

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。  
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

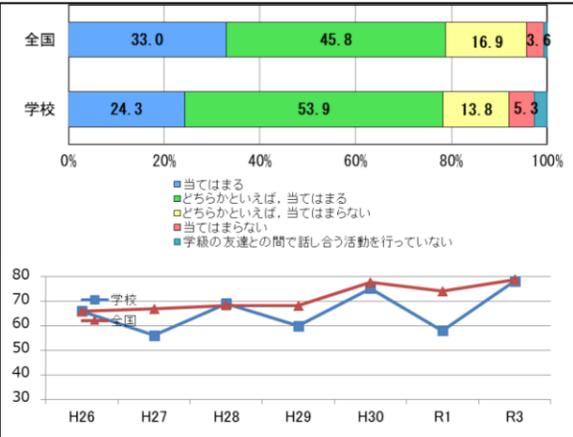
## 【成果のあった項目】

授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

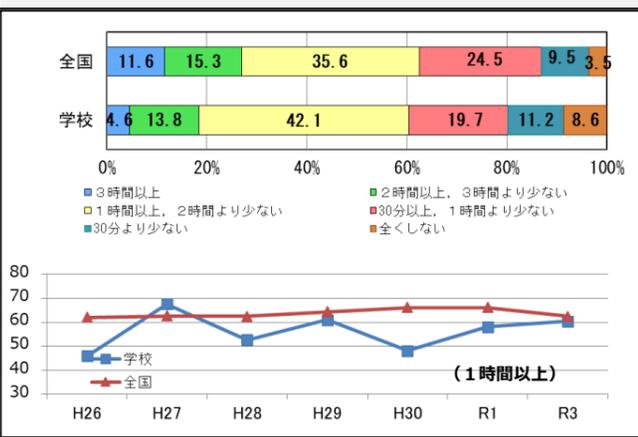


**(30分以上)**

学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

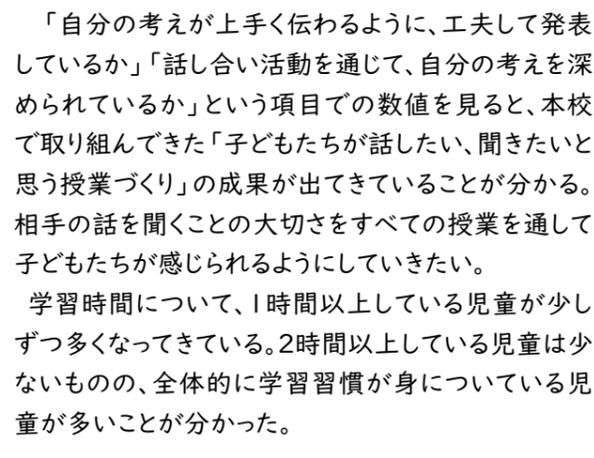


学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか



(1時間以上)

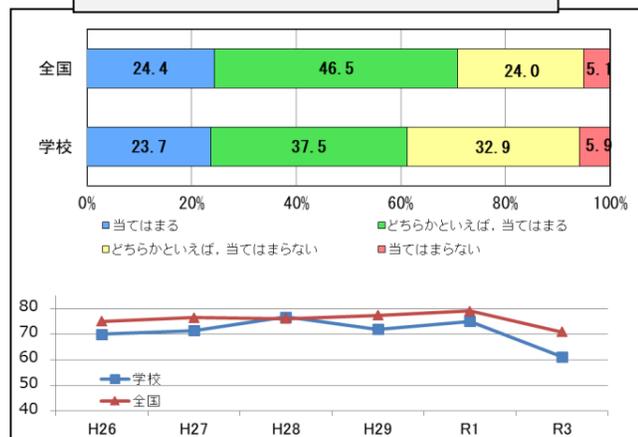
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか



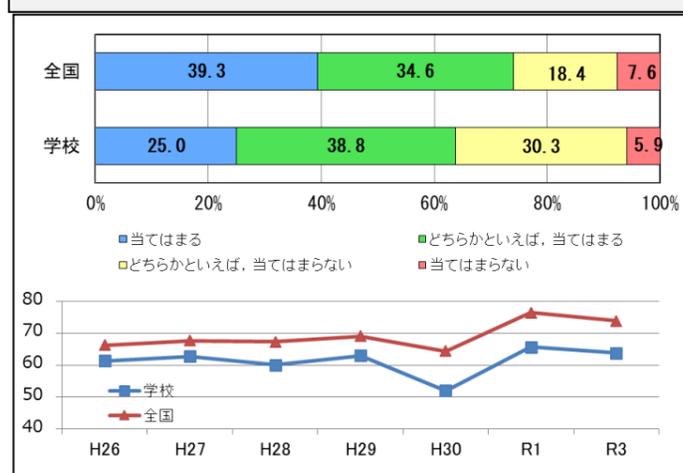
(30分以上)

## 【課題が残った項目】

難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える



(考察)

「難しいことでも、挑戦している」という項目では、否定的な回答をしている児童が4割弱であった。学習だけではなく、行事などでも積極的に動いたり、恐れずに挑戦したりする児童を学校全体で育てていくために、大人からの声掛けや環境づくりが必要である。

「算数の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか考える」という項目では、毎年全国より下回るということが続いている。教科書にある、「いかしてみよう」などにもしっかりと取り組むことが大切である。また、算数だけでなく他の教科でも、普段の生活と結び付けて考えていかなければいけない。

## 分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

- 授業改善について
 

国語の調査で分かったように、「話す」「聞く」では、「子どもたちが話したい、聞きたいと思う授業づくり」の成果が出てきていることが分かった。授業改善として、国語の「自分の考えを主張する文章を書く」という項目で課題があったように、理由を説明する力や表現する力などの「書く力」を養っていく必要がある。理由を明確にし、事実や考えと分けて考えることができるように指導していく。

算数では、基本的な問題に課題があるものがあつた。学習した公式や考えに形式的に数値を当てはめていくだけでは、根本的に理解することができない。公式や考え方に至るまでの思考を大切に授業展開をしていく必要がある。

また、タブレット等を使ったICT機器を柔軟に取り入れ利用しながら、より子ども達同士が協働できる授業づくりを心がける。
- 学習規律について
 

学校生活は全て授業時間で成り立っている。その授業は、子どもと子ども、教師と子どもの人間関係づくりの上に成り立っている。そして、それを支えているのが「学習規律」である。今後も、学校全体で学習規律が系統的に引き継がれるようにする。
- 家庭学習について
 

家庭学習の時間は、全体としては学習習慣が身につけてきている児童が多いことが分かった一方で、30分以下の児童の割合も多いことが分かった。学習時間について二極化していると言える。「計画的に学習する力」「自主的に学習する姿勢」などの大切さを児童に伝えながら、より一層の定着を図っていききたい。